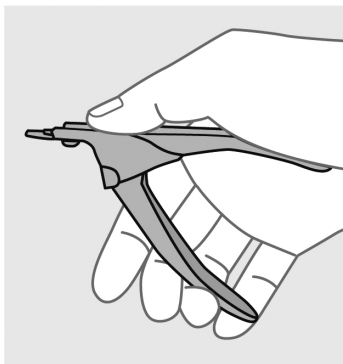


# 取扱説明書

## 1. 正しい持ち方

図のように、爪切りの平坦部分を手のひらに固定し、指先でレバーを握るように使用します。

※逆に使用すると、先端部分がブレて安定しませんのでご注意ください。



図：正しい持ち方

## 2. 切るときの態勢

とくに決まった態勢はありませんが、猫や犬を膝の上に抱きかかえると比較的安定して切りやすくなります。

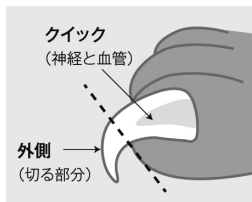
※どうしても暴れる場合は、洗濯ネットに入れて使用する方もいるようです。

## 3. 爪の切り方

猫や犬の肉球を優しく押してあげると、爪が現れてきます。尖った爪が現れたら切り時です。切りたい部分を先の輪に入れて、レバーを握ると簡単に切れます。



図：爪の切り方



※血管が薄く見えるところは神経と血管が通っているところですので、切らないように注意してください。

※出荷時の商品は、刃の出し入れを強めに設定しておりますが、先端部のネジ (+) により微修正が可能です。